

事業計画書

事業名	シンナカ彩生プロジェクト
実施場所	新仲見世商店街（沼津市大手町4丁目）
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載して下さい。 2019年4月1日 ～ 2020年3月31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載して下さい（事業の紹介などで使用します）。

新仲見世商店街の老朽化したアーケード撤去及び新たな整備やルール化等とあわせて、道路空間の有効活用や管理を担う新たな組織の在り方、稼ぐ仕組みづくり等について検討する。

◎目的

※何を目的として実施する事業であるか（事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）や、課題解決のためにどんなことが必要と考えるか）を記載して下さい。

昭和43年に設置したアーケードの老朽化で撤去の計画を進めている。他事例から、撤去だけでは商店街の魅力低下が見込まれるため、ピンチをチャンスと捉え、商店街としての新整備とあわせて、行政との連携により、道路を賑わいや稼ぐ機能を備えた空間に再編する予定であり、この空間をマネジメントする組織や仕組み等について研究することで、高齢者が多い商店街に若い新たな人材の参画を促し、商店街の持続的な発展を目指す。

◎実施内容

日程	実施項目・作業項目
4月	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載して下さい。 ①研究テーマの整理 商店街関係者（地権者・テナント）、家守会社、行政との打合せ
5～9月	②アーケード撤去及び新整備の検討 設計士などの専門家指導のもと、新たな照明設置やファサード整備等について検討 ③講師を招いた道路空間活用の研究会開催 全国の先進地等から講師を招き、道路空間を活用・管理する仕組みや組織を検討
10～3月	④組織化の調整・手続き 法人又は任意団体の設立準備及び手続き
適宜	⑤市民等への情報発信

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載して下さい。			
老朽化したアーケードの撤去により安全性が確保されるとともに、魅力的な空間が新たに創出されることで、まちなかに賑わいや集客が生まれる。また、道路上で気軽に屋台出店が可能な場や仕組みが構築されることで、起業創業や空き店舗解消にも繋がる。さらには、老朽化したアーケード対応に苦しむ全国の商店街に、モデル的な解決手法を示すことが出来る。			
成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定して下さい。 新仲見世商店街の南交差点歩行者通行量の増	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載して下さい。 市が毎年行っている調査結果を確認する

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

公益性 ・ 必要性	※公益性：地域のまちづくりの推進に如何に寄与できるのか、不特定多数の市民の利益にどうつながるのか等について記載して下さい。 ※必要性：事業を実施する意義や、本ファンドによる助成が有益で質の高い事業展開につながる理由を記載して下さい。 市が進める「リノベーションまちづくり」と連携し事業を推進することで、大きな効果を得ることが期待でき、中心市街地の魅力向上に繋がる。
地域性	※地域の実状と課題をどう捉え、事業を行うことによってどのように課題を解決するのか、また、地域の特性や地域資源をどのように活かしたか、などについて記載して下さい。 老朽化したアーケード撤去で通行者の安全性が確保されるとともに、歩行者専用道路というメリットを活かした管理・活用手法などを研究し、まちなかの彩生（再生）に挑む。また、商店街関係者の高齢化という課題に対応した事業である。
先導性	※事業の新規性や独自性など、新たにチャレンジする点、工夫した点などについて記載して下さい。 各地のアーケードは同時期に建設されたものが多く、老朽化対応に苦慮するケースも多いことから、この解決手法が確立できれば、全国的なモデルケースになる可能性を秘めている。
発展性 ・ 継続性	※発展性：活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。 ※継続性：本ファンドによる助成終了後も継続的・自立的な活動とするために、事業実施体制や活動資金の確保などにより取り組んでいくのかについて記載して下さい。 商店街の面する道路を管理する市との連携により、道路の有効活用・多機能化で稼ぐ要素を付加し、またマネジメント組織を構築する中で、若い新たな人材の参画を促すことから、この実現によって民間主導による持続的なまちづくりが達成される。
実現性 ・ 妥当性	※実現性：事業目的と事業内容は合致しているか、実現のために事業内容、予算の積算、自己資金の準備、スケジュール等について工夫した点を記載して下さい。 ※妥当性：各種法令順守、関係者との調整状況、費用に対する事業効果の妥当性について記載して下さい。 市との連携により事業を進める予定であるため、関係者が各々の役割分担のもと事業を着実に推進することで、実現性を高めることができる。
活動に対する熱意	※活動の動機、活動に対する意欲・熱意について記載して下さい。 老朽化したアーケード問題は長年の懸案であり、関係者の高齢化で、この機会を逃すと、この先は解決が非常に難しくなると考えている。商店街の持続的な発展のため、このプロジェクトを是非とも推進したい。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載して下さい（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。
今年度中に関係者との協議や研究を進め、具体的な組織や参画メンバー、運営の仕組み等について道筋をつけ、次年度のアーケード撤去及び照明・ファサード整備の施工とあわせ、運用を開始する予定。新たな空間が形成された後、市民等に広く知ってもらうため、PRイベントの開催等を予定。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載して下さい。

◎特に高い公益性を有することの説明（ハード部門のみ）

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。